

北市民健康文化センター指定管理者公募に関する質問及び回答

	書類等の名称 ページ	質 問	回 答
1	募集要項 P 4	指定管理者の業務に「管理上必要と認められる業務で、市長が別に定めるもの。」とありますが、想定しているものがあればご教示ください。	現段階では想定しておりませんが、募集要項に規定していない事項でセンターの管理上必要と認められる業務が発生した場合は、その都度指定管理者と相模原市が協議の上定めていくことになります。
2	募集要項 P 11	提案説明会の一応募者あたりの配分時間、参加可能人数、使用機材はどのようにするのでしょうか。	8月20日(月)を申請の受付期限としておりまして、申請団体の数によって決定する予定ですので、確定した段階でお知らせします。 なお、プロジェクターは用意いたしますが、パソコンは申請する団体をご用意ください。 詳細は、提案説明会のご案内の通知にてお知らせします。
3	募集要項 P 19	経費の取扱いにおいて、自主事業等の実施に係る収入及び支出は原則として指定管理者会計に属すると思いますが、このことは「自動販売機の設置等による経費を除く」とされています。しかし募集要項上には自動販売機に関する記述はありません。自動販売機の設置等による経費についてはどのような取扱いとなるのかをご教示ください。	自動販売機の設置に関する収入、支出は、いずれも同一の区分へ計上するようにしてください。 また、収支予算書様式では、【指定管理業務に関するもの】に項目を設けてありますが、【自主事業の実施に関するもの】に計上していただいても構いません。(参考:収支予算書変更例)
4	募集要項 P 19	今回の指定管理期間中に市で実施を予定している修繕や設備の更新など(規模を問わず)の計画があれば、具体的な内容と時期をご教示ください。	平成31年度に建築基準法第12条第2項に基づく特定建築物の定期点検を予定しており、その結果を踏まえて指定管理者と相談し、修繕や設備の更新を進めていきます。その際、相模原市の財政状況を踏まえての執行となるため、優先順位の高い内容から着手することになります。 また、募集要項のP30にも記載しておりますが、平成31年度に建物の寿命、安全性及び機能性に大きく影響を与える主要な部位の劣化度調査も予定しています。調査結果によっては、平成34年度以降に大規模改修を行う可能性があります。
5	募集要項 P 19	修繕料の実績が、相模原市が指定した予算を超過した場合、その後の必要な修繕は相模原市で対応していただくことになるのでしょうか。また、該当する修繕の未実施に起因する障害等のリスクは原則どちらの負担となるのでしょうか。	修繕の実施については、「リスク分担表」において、「収支予算書を超える部分については、市と協議する。」こととしております。 該当する修繕の未実施に起因する障害等のリスクについては、原則として、「リスク分担表」に定める当該修繕の実施者が負担することとなりますが、最終的には、市と協議のうえ対応を検討することになります。
6	募集要項 P 22	「事業計画書」について5年間分を作成することとなっていますが、実施事業、維持管理業務など、具体的に5年分記載する項目をご教示ください。	事業計画書については、各年度の提案内容が同じであっても、異なる内容であっても良いこととしております。実施事業や隔年で発生する点検業務など、必要に応じて年度ごとの記載としてください。
7	募集要項 P 27	相模原市が施行する相模原市公契約条例に定められている労働報酬下限額の改定、及び契約の予定価格の改定について、指定管理者が平成35年度までの変動を見込むことは困難です。また、当施設を維持管理する上で不可欠な清掃、警備などの個々の具体的業務において与える影響が大きい関係法令の変更と異なり、このことによる費用負担を指定管理者が負うリスクは大きいものと考えます。 指定管理者が負うリスクであれば、影響の大きさを検討するために、労働報酬下限額の変動見込みをご教示ください。	労働報酬下限額につきましては、神奈川県最低賃金額その他の事情を勘案し、相模原市労働報酬等審議会の意見を聴いた上で定めており、平成31年4月以降の労働報酬下限額については現時点で決定しておりません。 なお、指定管理料上限額に含まれる人件費につきましては、近年の神奈川県最低賃金の上昇率と同程度の上昇率を見込んだ上で積算を行っております。
8	資料 4 P1	清掃工場と連動している施設ですが、工場の修繕等で蒸気が来ない日数は何日あるのでしょうか。また、31年度から35年度それぞれの稼働日数を何日として成果指標を設定しているのでしょうか。	北市民健康文化センターの施設の性質上、清掃工場からの蒸気の提供に営業日が左右されます。 現段階では平成31年度が290日程度、平成32年度が295日程度、平成33年度から35年度が335日程度の開設を予定しています。 なお、北清掃工場の修繕や設備の故障等により、開設日数が前後する可能性があります。
9	資料 4 P3	部品供給が終了してる機械設備が複数あり、修繕では対応出来ない設備について、相模原市はどのような考えでいるのかをご教示ください。	部品供給が終了し、修繕では対応できない設備については、指定管理者と相談の上、更新等していく予定です。 なお、市の予算の範囲内での執行となるため、施設の運営状況を踏まえ、優先度合の高い順に対応していくことになります。
10	資料 4 P6 ~ 10	相模原市からの発表資料により、施設管理については性能発注方式を積極的に導入するとありますが、資料4の維持管理業務一覧には具体的な実施回数が記載されております。指定管理者が実施回数等を提案することは可能でしょうか。	資料4の維持管理基準ですが、法律に規定されている回数及び各種メーカーが推奨している回数の点検等は必要と考えております。また、国土交通省の定めている基準や、相模原市役所の本庁舎を管理している部署の基準等を参考に回数を示しております。 清掃の回数につきましては、標準的な仕様とらえていただけてください。施設の良好な環境衛生、美観の維持を心がけ、安全かつ快適な空間を保てるように、申請団体が必要と認める内容・回数を計画してください。
11	資料 4 P11	AEDの研修を含めた訓練の実施回数が「研修は年一回」と記載がありますが、健文には訓練を「年一回」とあります。どちらの表記が正しいのでしょうか。 また、北の丘センターの標記が正しい場合は、訓練は別に定められるのでしょうか。	職員がAEDを使用すべき時に即座に対応できるように研修(訓練と同じ意味で使用しています)を行ってください。研修(訓練)の内容は特に定めておりません。
12	資料 4 P11	北市民健康文化センター維持管理業務一覧のプール監視業務について、サマータイムは午前9時との記載がございます。サマータイムとはいつからいつまでの期間でしょうか。	資料4に記載しておりますサマータイムは小学生の夏休み期間中を想定しております。 相模原市立市民健康文化センター条例では、プールについては午前9時30分から午後8時までと規定しておりますが、現指定管理者が市長の承認を得て、7月1日から8月31日までの期間、利用の開始時間を午前9時からに変更しています。 この期間で、小学校の夏休みと重なり、利用者の増加が予想される期間についての人員体制をサマータイムとして、資料4に示しております。
13	募集要項 P 14	「施設等の維持管理に関する業務については、「指定管理者が行う業務及び管理の実施基準」を充足する内容で、日常及び定期的(法定点検、自主点検等)など維持管理の内容、頻度及び業務の遂行上必要な事項について作成し記入してください。」とありますが、建築基準法に基づく定期点検も含みますか。	建築基準法第12条第2項に基づく特定建築物の定期点検は3年に1度のため、要項(仕様)に含めておりません(相模原市が行います)。ただし、同条第4項の特定建築設備等(建築設備、昇降機、防火設備)の定期点検(1年に1度)は、仕様に含まれます。 なお、防火設備としては防火戸と防火シャッターがあります。